

一般質問

水道事業の計画と漏水修繕について



きよの かずひろ
清野 和彦

問 耐震化基幹管路A・Bルート計画の詳細は。

答 Aルートは平成28年度～37年度で橋立浄水場から国道140号を通り大野原交差点まで約8kmを整備、約24億円。Bルートは平成34年度～37年度で県土整備事務所前交差点からAルートより分岐し県道小鹿野影森停車場線、中央通り線、東京電力前交差点までの約2.5kmを整備、約7億円。両ルートとも別所系の既設管に接続し、ループ状に別所浄水場の配水系統への送水が可能となる。老朽化した橋立浄水場からの三系統の既存管路は廃止。

問 緊急漏水修繕工事の実績は。

答 平成20年度～25年度で配水管給水管合わせて3964件、費用は3億1560万円。

●再生可能エネルギー政策

問 エルゴ社とのメガソーラー予定地の賃貸借契約が遅れた理由は。

答 エルゴ社内の組織統制、日本の取引や法制度、商習慣への理解不足、膨大な契約内容、特定の資金調達方法へのこだわり等が要因。
問 この6月に発表された秩父市

木質バイオマス発電事業の詳細は。
答 民間主導。市は出資せず側面的な支援。平成27年度中の運用開始を目指している。間伐後の林地残材、街路樹等の剪定枝や建築廃材等による木質チップ年間2万トンを原料に発電規模2メガワットを予定。事業用地については交渉中。

●生物多様性地域戦略

問 環境立市をめざす秩父市として生物多様性地域戦略の策定は。

答 策定に向け検討していきたい。



一緒にちちぶの水道の未来を考えましょう

改修が求められるキッズパークの障がい者トイレ



いわたの あきえ
日本共産党秩父市議会議員団 出浦 章恵

問 キッズパーク建設当時、障がい者トイレにオストメイト(人工肛門の方対応)の設置を要望し実現したが、今回必要とされているベッドやシートを要望してこなかった。十分ではなかったことを反省し、今回要望について対応を願いたい。考えは。

答 ユニバーサルシート(大人用のおむつ交換ベッド)の設置は、現状のトイレにこれ以上のオプション設備のスペースがない。今後、施設の改修・整備の際には検討したい。車いすが必要な障がいのある方の着替えやおむつ交換に1階の緊急時用の救護室をと考えている。ベッド、カーテン、流し台、エアコン設置がある。満足してもらえないかもしれないが利用をお願いしたい。

●あいサポート運動について

問 あいサポート運動を行う考えはあるか。また、企業にもご協力をいただき、サポーターになってもらう考えは。

答 多様な障がいの特性、困っていること、必要な配慮などを理解し、障がいのある方に対して

ちよつとした手助けや配慮を実践し、障がいのある方が暮らしやすい地域社会をつくる運動。実施については、引き続き県並びに近隣市町の動向を注視しながら検討する。

問 手話講習会開催の考えは。

答 秩父定住自立圏構想事業の一環として実施する方向で秩父郡市の1市4町で協議している。

問 手話通訳者派遣制度実施は。

答 市独自の事業実施は、引き続き関係団体と協議、検討する。



改修が求められるキッズパークの障がい者トイレ

一般質問

市民満足度調査結果の活用を



かなざき まさゆき
金崎 昌之

問 調査は5年5回目という一つの節目を迎えており、「重要度は高いのに満足度が低い」に固定化している雇用や市立病院の充実等の施策について、満足度の上昇に具体的に結びつく取り組みが求められていると考えるが。

答 28年度からの総合振興計画に活かすことを考えている。

問 他市で行っているように、自由記述欄に記された市民の声を公表する考えは。

答 検討したい。

ユニバーサルデザイン条例制定を

問 ユニバーサルデザイン(UD)の推進を条例化し、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを内外にきちんと示すことは、居住者よりもより移住促進や秩父の観光発展等にも寄与すると考えるが。

答 「秩父市UD行動方針」を定めて6年、改めて周知の必要性を感じている。条例制定でなく、このUD行動方針に基づいて「人に優しく、環境に優しく、そして未来のために優しいまちづくり」を進めていきたい。

医療・介護で高齢者の移住受入を

問 今、大都市に居住する高齢者の移住受入を目指す自治体が現れている。雇用の確保・創出が最大の課題となっている秩父市としても、来るべき介護・医療での雇用拡大をめざして、研究・検討を始める必要があると考えるが。

答 雇用の拡大というメリットと、保険料の増大というデメリットがあるので、研究を重ねていくことが望ましい。

問 障害者用トイレの改善を母子の願い、議会動かす

秩父市議会が採択した「障害者用トイレの改善を母子の願い、議会動かす」の決議文を掲載する。



秩父主婦の請願、市議会が採択

実体験訴え 署名4000筆集める

「障害者用トイレの改善を母子の願い、議会動かす」の決議文を掲載する。

「秩父市のユニバーサルデザイン化に関する請願」採択を報じた新聞

子育て支援と高齢者支援



やまな すずむ
日本共産党秩父市議会議員団 山中 進

子ども子育て新制度は

問 新制度においては「国が一定の省令や基準の策定をし、その省令や基準に地域の実情に応じた基準の策定を」とされているが。

答 児童福祉法24条1項については、市が保育の実施責任を果たす補助金については、新たに3事業が新規事業として追加、交付金が一本化され、削減されない。保育

所以外の保育を必要とする認定こども園等については、それぞれの施設と直接契約となる。

今後の学童保育運営基準は国や県の運営基準を指標とし新条例を作っていく。

改定された介護保険の現状は

問 要支援者が介護保険から外れる市の総合事業になるが支援は。利用料が1割から2割負担となる。特別養護老人ホーム入所条件が要介護3以上となるが現在、利用している人、入所希望者は。食費や部屋代は。介護保険料の値上は。

答 要支援者サービスは平成29年4月から介護予防・日常支援事業開始となる、包括支援センターを

中心に関係者と協力体制を取りサービスの維持をはかる。要介護1・2の認定者は現行通り入所希望は事情により入所は可能。保険料の値上げは避けられない。

水道料金の値上げについて

問 29年間料金の値上げをしなかったこと、石綿管の布設替えや耐震化工事を怠ってきた責任は。

答 平成10年に赤字の計上が予想されたが値上げしなかった。石綿管の更新は、水道の広域化を行う団体を対象に補助される、広域化促進補助金を活用し進めたい。



子どもたちの未来のために

◎防災について

一般質問

市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議会議員団 齋藤 捷栄



かっしげ

●金婚表彰の通知制

問 現在申し出で「申請制」で受け付けている金婚表彰対象者について、通知制を採用できないか。また申請忘れて過ぎてしまった方の救済についてはどうするか。

答 戸籍法との関係で、職員による婚姻日調査ができないことから「申請制」を取らざるを得ない。申請忘れの人については、遅れての申請も受け付けている。いずれにしても積極的に申請してほしい。

●迷惑電話対策

問 広範囲に発生した迷惑電話に対して、警察や電話会社との連携連絡はどうであったか、また今後の対策はどのように考えているか。

答 警察も電話会社も多くの問い合わせを受けたが、事件性がないため捜査には至っていない。電話会社の調査では原因不明で対応の様子がなく、とのことであった。ただ、特定個人や家庭が狙われていることではないことが分かって安心した、との声が多く聞かれることから、そうした状況について、何かの方法でお知らせする手段を関係各方面とも連携しながら検討

●認知症徘徊対策

問 高齢化が進み、認知症徘徊高齢者の増加が予測される中、徘徊を防ぐというより、逆転の発想による「安心して徘徊できる街づくり」こそ求められるのではないか。

答 市はこれまで約5千人の認知症サポーターを養成してきた。今後は認知症に対する正しい理解と対応の重要性に鑑み、徘徊高齢者への声掛け模擬訓練などの実施を検討していきたいと考えている。



各地で進む認知症徘徊対策

防災対策について

問 防災ハンドブックの見直しと危険地域の周知徹底をすべきではないか。

答 東日本大震災を契機に県による見直し作業が進められ、平成26年3月に報告書が発表されたことから、平成27年度に最新の情報をもとに作成できるように検討を進めていく。

問 土砂災害特別警戒区域を市民に周知徹底をすべきでは。

答 9月16日に埼玉県が追加指定し、658か所が土砂災害警戒区域、また、警戒区域の内336か所が土砂災害特別警戒区域となった。この地域には地元説明会等を実施し周知されている。これ以外の地域は県が作成したマップを10月には配布出来るように進めている。市内全域の配布は、防災ハンドブックの作成時に地域ごとの危険箇所マップを配布する。

●ヘルプカードについて

問 緊急時や災害時に、障がいや難病のある方が効果的な支援を受けるために必要なヘルプカードを作成する考えは。

答 現在、窓口の受付カウンター

公明党 大久保 進



おおくぼ すずむ

においてN T T東日本から提供頂き「電話お願い手帳」を配布している、ヘルプカードについては、既に導入している自治体等から情報を得るとともに、導入について関係部局と協議、検討していく。

●ゆるキャラについて

問 応募状況は。

答 日本全国から671点の応募があり「選定委員会」で一次選考を実施し、市内小・中学校の児童・生徒に投票してもらい、決定する。



秩父市防災ハンドブックと電話お願い手帳

◎ 空き家対策について

一般質問

観光行政について 秩父ならではの観光政策



清流クラブ 松澤 一雄
まつざわ かずお

問 入込客数の推移、ミューズパーク、羊山公園の利用状況は。

答 東日本大震災が起きた平成23年度を除き、毎年400万人前後で推移している。最近では西武鉄道のCMやアニメ効果により、公共交通機関利用者も増え、観光客は増加している。

問 スポーツの森の管理運営が民間に移転したが、現在の状況は。

答 今年のGWが飛び石連休であったこと、6月の土日に雨天が多く伸び悩んでいたが、7・8月の夏休み期間は盛況であった。なお、市として今年度これらの施設への運営経費の予算計上はない。

問 芝桜の雑草対策について

答 除草作業は、シルバー人材センターと芝桜除草ボランティアによる除草作業に加え、スギナを根絶する土壌改良材としての肥料により除草し、芝桜公園を管理する。

問 秩父の持つ観光資源、歴史、風土、地形等を活用した秩父ならではの観光政策について

答 秩父には数多くの観光資源があり、他地域にない強みを持っているが、現在この数多い資源を繋いでいく力が不足し、観光誘客に



山地から盆地へ（浦山ダムから望む）

- ◎無電柱化政策について
- ◎農業振興と太陽光パネル設置

ごみ問題について



清流クラブ 高野 宏
たかの ひろし

問 ごみ問題について、町会の立場役割をどのように考えているか。

答 一般廃棄物としてのごみ収集は秩父広域市町村圏組合の事務となっており、構成団体1市4町が、億単位の負担金を払いつつ協力している。市と町会の立場、役割については、ごみ収集業務が、日々支障なく行われているのは、ごみカレンダラーの配布からごみ集積所の管理に至るまで町会の協力によるものである。市全体のごみ問題への対応や広域組合との調整等は行政が行うべきですが、集積所の設置管理等は、町会により進めていくことが、適正であると考える。

問 ごみステーションの設置についての市からの指導は。

答 街中のごみ集積所の設置について、市が集積所を設置することになると、現在のような細分化された集積所ではなく、拠点型にならないを得ず、集積所が遠くなる等住民が不便になるので、現行どおり町会にお願いしたい。

問 ペットの糞害等の対処は。

答 犬猫等の糞害等の対処については、飼い主のマナーに委ねる部分が大きく、引き続き、ねばり強く

問 広報等の啓発を行っていく。

問 市の害虫防除対策は。

答 デング熱や外来種の害虫が発見されるなど、人への健康影響が危惧される問題が起きているが、現在秩父市での発生はないが、国、県と連携し、動向を注視していく。



郊外のごみ集積所



街中のごみ集積所

- ◎教育行政について。
- ◎町会・自治会の役割、運営